

公開講演会

来聴歓迎

主催：早稲田大学日本宗教文化研究所

共催：早稲田大学総合人文科学研究センター研究部門
「グローバル化社会における多元文化学の構築」
早稲田大学文化構想学部多元文化論系
早稲田大学多元文化学会

浙江工商大学 東方語言文化学院

郭万平 副教授

講演会

記憶としての「元寇」

司会：吉原浩人（早稲田大学日本宗教文化研究所所長）

日時：2018年2月26日（月） 16:00～17:45

場所：早稲田大学戸山キャンパス 33号館6階 第11会議室

使用言語：日本語

郭万平副教授は、南京大学で博士号を取得し、大正大学・龍谷大学・九州大学・高知大学・早稲田大学等において客員研究員等として研鑽のご経験があります。ご専門は、宋・元代史ならびに中日関係史で、今回は元寇資料調査のため、早稲田大学訪問学者として滞在しておられます。また日本宗教文化研究所設立時より、招聘研究員としてご活躍いただいております。

元寇（蒙古襲来・モンゴル襲来・文永の役・弘安の役とも）は、日本の鎌倉時代中期に、当時大陸を支配していたモンゴル帝国および高麗王国によって二度にわたり行われた、対日侵攻の呼称です。モンゴルのインパクトは、短期の軍事的なものばかりでなく、長期にわたる文化的インパクトを伴うものでした。日本では「元寇」は、民族の記憶として七百年以上にわたって形成され、またさまざまに変容しています。今回は、中国・朝鮮半島・日本ばかりでなく、ベトナムなどを含む海域アジア、さらにはユーラシア大陸全体における影響を視野に入れた上で、日本民族における「元寇」の記憶について、研修の成果をご講演いただきます。

なお郭副教授のご業績としては、『南宋臨安対外交流』（共著、杭州出版社、2008）、『舟山普陀与東亜海域文化交流』（編著、浙江大学出版社、2009）、『宋代開封研究』（訳書、上海古籍出版社、2010）、『明代郷村糾紛与秩序—以徽州文書为中心』（訳書、江蘇人民出版社、2010）など、多数あります。

※講演会終了後、懇親会を行います。会場未定。会費一般4,000円、学生3,000円。
懇親会に御出席いただける方は、2月23日夜までに、下記メールアドレスまでお知らせ下さい。

（吉原浩人）yoshi-w@qa2.so-net.ne.jp